

皇紀二六八三年 新年おめでとう
ございます。

昨年、私が議長に就任する頃か、新型コロナウイルスに関する国の方針も、感度抑制と社会経済活動の両立を目指す方向に向かい精力的に活動を続けてきました。県議会を代表しての政府要望等として、九州各県議長会の会長として、岸田総理との意見交換会での要請活動や九州各県議会議長としての通常の要望活動に加え、九州を取り巻く安全・安全保障環境の悪化や、外交防衛・安全・安全保障とTSMC進出に伴いシリコンアイランド九州復活を目指した経済安全保障の観点から緊急要請活動も行いました。

また、昨年十一月には蒲島知事と共に米田モトナオ、今年八月には知事と経済界の皆様と共に台湾も訪問し、トップセールスを行ってまいりました。

私のこれまで経験、人脈をフルに活用しながら充実した活動ができて

「皆様の声に耳を傾け、強い決意を胸に一歩ずつ前へ」

援ご協力を頂き、皆様の御恩であり、心より感謝申し上げます。

さて、地元、人吉、球磨のことに目を向けますと、令和二年七月豪雨に伴う球磨川の流域治水対策及び五木村の復興に関する議論については、昨年八月に行われた、昨年八月に於いては、二十年の治水対策をまとめた球磨川の河川整備計画が策定されました。

一方、被災した地域のまちづくりや復興は道半ばです。人吉に住むものとしては、治水対策とまちづくりは、一体的に進めなければならないと考えています。六十七名という尊い命、多くの財産が失われ、傷ついたという事実から目を背けず、災害に強いまちづくりを成し遂げるという強い決意を進めて参りますように。

今年には四年に一度の統一地方選挙の年です。豪雨災害以降、甚大な被害が出てしまった責任を痛感しながら、復旧復興に全力で取り組んでまいります。



Wedding-UP DAY 2022

12月1日、八芳園（東京都）のオンラインスタジオKOUTENで開催された「Wedding-UP DAY 2022」に出席しました。

これからのウェディングビジネスをともに考え、未来へのアクションを起こすきっかけを生み出すために開催された企画で、「結婚写真、地域との共創で生まれた結婚写真の「三方よし」をテーマとしたセッションに登壇し、人吉市の取組み状況を紹介するとともに、「人吉市での取組みを成功させ、その成功体験を模倣することで、県全体へ波及することを期待したい。」と述べました。



令和4年度北朝鮮拉致問題解決に向けた講演会

12月3日、熊本県、熊本県議会及び熊本県教育委員会主催の「令和4年度北朝鮮拉致問題解決に向けた講演会」に参加しました。

講演会冒頭、主催者として、拉致問題解決に向けて、北朝鮮に対して拉致問題を決して許さないという姿勢を見せ続けることが大切と、国民世論の喚起を強く訴えました。

12月定例県議会は12月2日に開会し、21日間の日程を終え22日に閉会しました。

新型コロナウイルスの感染拡大が収まらず、第6波に突入する中、定例会初日に薄島知事から空港アクセス鉄道の熊本大津ルート決定が発表されたことを受け、アクセス鉄道のルート決定をはじめアクセス鉄道などについて、一般質問がなされ、委員会では、ルートから外れた県民総合運動公園の次滞棟和楽について活発な議論が交わられ、県議会としては「空港アクセス鉄道整備の早期実現に関する決議」も行われる議会でありました。

補正予算については、新型コロナウイルス感染症を踏まえた対応として約73億円(内訳:物価高騰の影響を受けた事業者支援(46.4億円)、災害関連事業及び防災・減災、国土強靭化関連事業として約415億円(内訳:台風14号からの復旧(91.0億円)、防災減災・国土強靭化(321.5億円))に加え、追加提案として、国の経済対策への対応として約55億円(内訳:県内宿泊・日帰り旅行キャンペーン、県内各所の送迎用バスの安全装置整備支援等)やその他約12億円(内訳:空港アクセス鉄道建設のために必要な調査(0.8億円)、人事委員会勧告を受けた職員給与改定(11.8億円)等)の増額補正が提案された

決・承認され、補正後の県予算額は約9,957.4億円となりました(今回の増額補正:全体で約566.58億円)。

その他、印象的だった議論は、TSMC進出予定地周辺での用地不足に伴う農地除外等手続の迅速化、肥後線の復旧時期、清水型ダム建設に関連した五木村の振興、こども医療費の補助率アップ等でありました。特に、空港アクセス鉄道は「肥後大津ルート」とするとの知事表明を受け、県民総合運動公園周辺の次滞棟が再浮上し、臨時駐車場の追加やシャトルバスを運行する主催者への補助制度の創設等を行うとの県説明もあり、今後もトライアンドエラーを繰り返しながら取組を進めるとの決意が述べられました。



12月県議会を終えて

この会報のお問合せは

溝口幸治事務所
〒968-0004 人吉市丸根83 2F
TEL 0966-22-5800
FAX 0966-22-5802
http://www.k-mizoguchi.com
E-mail:office@k-mizoguchi.com

発行 溝口幸治事務所
発行責任者 眞山幸治

▼編集後記
あけておめでとうございませう。今年もどうぞよろしくお願ひします。2023年の干支は癸卯(みづのとう)。癸卯は歳を去り、これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するようになるとも言われております。420年前の癸卯の年に徳川家康が江戸幕府を開きました。あの関ヶ原の戦いから実に3年の準備期間を経ての設立。人吉市のさらなる発展にもそんな期間が必要だったと前向きにとらえたい。きっと良い年になる、そう信じて一年をスタートしたいと思います。<K.T>

みぞぐち幸治後援会 所在地

人吉市丸根83
2階
新事務所



第77回国民体育大会優勝報告会

11月7日、国民体育大会優勝報告会に出席しました。
黒川朝夫の天皇杯の目標10位には届かなかったものの、ポート(少年男子ダブルスカル)とレーボール(少年男子6人制)の優勝をはじめ、他にも多数の上位入賞があったことが報告されました。
また、数回のことで、ポートの練習場所として下江津湖が、外来植物の影響で満足に練習できない環境にあるとすることで、「練習環境と成績は直結している。各競技の練習会場の再点検が必要。」と執行部へ意見を述べました。

くまもとモン × 大阪梅田ジャッツ

11月5日、大阪梅田エリアの6つの商業施設を、熊本のおいしい農作物や加工品(くまもとモン)でジャックするイベントの、オープニングセレモニーに出席しました。
来場者の皆様やイベント開催まで御苦労された関係者の皆様に感謝述べた上で「球磨焼酎を始めとする県産品をこれだけ多量に提供していただけるということは、熊本県の宝庫地になってくれたり力になるか、地元で得たりしっかり報告したいと思います。」と述べました。
その後は、JR大阪駅東側の高架下にある「新梅田食道街」で球磨焼酎がめぐる店を視察したあと、吉本芸人のからし直産りと店頭に立ち、球磨焼酎のPR活動を行いました。



熊本県・米国モンタナ州姉妹提携40周年記念 米国モンタナ州訪問

11月6日～11日、蒲島知事や県執行部と共に米国モンタナ州を5年ぶりに訪問しました。
熊本県は、1982(昭和57年)に米国・モンタナ州と姉妹提携を結び、今年7月で40周年を迎えたことから、変わらぬ友情を確かめ合い、今後、更なる交流の促進を図ることを目的に、3都市(ヘレナ、ボーズマン、ミズーラ)17か所を訪問し、モンタナの文化と交流を図りました。

ロアツプ熊本J1参入プレーオフ決定戦最終戦

11月13日に開催された「J1参入プレーオフ決定戦(ロアツプ)熊本v.s京都サンガ)」で、熊本県民にとって歴史的な1日になることを期待し、現地：サンスタジアムで応援しました。結果は残念でしたが、たくさんの感動と興奮をいただきました。
また、11月15日には、京都で全てを出し切ったばかりのロアツプ熊本及びサントクラブ熊本から、シーズン終了の報告のため議長室を訪問いただきました。



九州各県議会議員会 経済産業省への緊急要請行動

11月14日、九州各県議会議員会会長として、佐賀県議会議長及び大分県議会議長とともに経済産業省の太田副大臣を訪問し、「経済安全保障の強化及びシリコンアイランド州の復活」について、緊急要請を行いました。
昨今の緊縮した国際情勢を踏まえ、国内で必要な半導体生産を安定供給していくことは国家プロジェクトであり、TSMCの工場建設を始め、関連企業の進出や増資が早く九州が、半導体の生産拠点として日本の経済安全保障の一翼を担っていくという認識のもと、国からの必要な支援を求めました。

九州各県議会議員会による要請活動

11月17、18日、九州各県議会議長会の会長として、自民党、公明党、及び関係省庁(内閣府、外務省、農林水産省、資源エネルギー庁、国土交通省、観光庁、防衛省)に対し、要請活動を行いました。
外交・防衛の安全保障、TSMCの本県進出を契機としたシリコンアイランド九州・外資の安全保障など、九州が一体となった要請活動を行いました。



活動報告

夏目友人帳影絵灯式

10月7日、人吉市諏訪原町公園で開催された「夏目友人帳影絵灯式」に出席しました。この事業は、アニメ「夏目友人帳」の作者である緑川ゆき氏が、熊本県出身であり、また、人吉が光を使った復興事業に取り組みできたこと、これに熊本県が助けて実現した事業で、立ち上げ当時から関わってきました。
作者の緑川ゆき様、照明デザイナーの長町志穂様、監修等をいただいたADKエモーショナル様をはじめ、関係する全ての皆様へ感謝します。また、夏目友人帳にお世話になるばかりでなく、夏目友人帳を愛し、夏目友人帳を宣伝する人吉市民でありたいと思います。



国の施策等に関する提案・要請活動

10月17日、蒲島知事及び県執行部と厚生労働省を訪問し、新型コロナウイルス感染症等に関する要望を行いました。その後、自民党本部を訪問し、TSMC関係、平成25年度熊本県産品・令和2年7月豪雨からの前倒しの復興そして新型コロナウイルス対策に関する要望を行いました。
翌18日は、国土交通省、財務省を訪問し、空港アクセス道路、令和2年7月豪雨関係、TSMC関係の要望を行い、二日間主要活動を終えました。

球磨川流域(市房ダム・川辺川等)視察

10月21日、台風14号による人吉球磨地域の被災状況や、関係機関の対応と「球磨川水系川原整備計画」に係る治水対策を確認するため、球磨川流域の視察を行いました。特に、市房ダム対応は、下流域の水位予測をもとに緊急放流のタイミングや水量の調節を判断され、洪水調整の役割がしっかりと果たし、下流域の安全を守る効果があったことを確認しました。その上で、「放流を知らせるメーソンの意味や対応マニュアルについて、行政機関・議員・流域住民に改めてしっかりと周知を図る必要がある」と、「ダムの有無に関係なく、山崩で大雨が降ったら危険であるという認識を皆が持つ必要がある」と、について、意見を述べました。



九州各県議会議長会 NEXCO 西日本への要請行動

10月24日、九州各県議会議長会会長としてNEXCO西日本(大阪市)への要請行動を行いました。「九州にとって高規格道路は、命の道路、経済活性化の道路、地方創生に資する道路として大変重要。特に熊本地震や令和2年7月豪雨の際には、高速道路の役割の大きさを感銘した。九州各県は皆同じ思いであり、特段の配慮をお願いしたい。」と述べ、「高規格道路の整備促進に係る要望書を提出しました。」

第173回全国都道府県議会議長会定例総会等

10月25日、広島市で開催された「全国都道府県議会議長会定例総会」に出席しました。総会では、自治功労者の表彰のほか、役員会から提出された13議案及び各委員会から提出された提言案について審議が行われました。
総会に先立ち、九州各県議会の議員が集まっていただき、九州が一体となって国への緊急提言(案)をまとめ、要請行動を行うことを確認しました。



第1回ゼロカーボン社会・くまもと県民会議

10月31日、「ゼロカーボン社会・くまもと県民会議」に出席しました。「2050年県内CO2排出実質ゼロ」を実現するための地球温暖化対策、3R、食品ロス削減等の循環型社会を作るため、関係団体が連携し、これらの取組みを県民運動として推進するものです。会議では、執行部から、現状と課題及び必要な対策についての説明と取組方針が示されました。